

# 2020 年度(第 41 回)『東北建築賞』候補募集

主催 一般社団法人 日本建築学会東北支部  
後援 公益社団法人 日本建築家協会東北支部  
(社) 建築士事務所協会 (東北各県)  
(社) 建築士会 (東北各県)  
東北建設業協会連合会

## 第 41 回「東北建築賞」候補募集要項

### 1. 表彰目的

東北地方においてその建築文化や環境形成の向上に貢献し、地球環境時代に相応しい優れた建築作品、東北地方で発表された将来性が期待される研究活動、その他建築分野にかかわる重要な業績を顕彰することにより、東北地方における建築水準の発展に寄与し、学会と地域社会の交流を図ることを目的とする。

### 2. 賞の種類

#### (1) 「研究奨励賞」

東北支部研究報告会で報告された今後の発展が期待できる研究論文 1 編を対象とし、賞を受ける者はその論文を口頭発表した正会員(個人)であり、かつ「若手研究者」(原則、修士の学位を有する者、あるいは修士の学位を有する者と同等以上の学力を持つ者で、発表時に 40 歳未満)とする。

#### (2) 「業績賞」

(1)(2)以外で東北地方で実施された建築分野にかかわる重要な業績(街づくり・保存運動・経済・文化・教育・技術・生活など)

### 3. 応募条件

- (1) 研究奨励賞は、過去 3 年間に東北支部研究報告会で報告された研究論文 1 編(ただし、同一論文題目の連報の場合は、それらを 1 編とみなす)を対象とし、賞を受ける者は、その論文を発表した正会員(個人)であり、かつ「若手研究者」とする。ただし、この制度によってすでに賞を受けた者、また過去に日本建築学会奨励賞、学会賞(論文)を受賞した者を除く。また、応募は正会員による推薦(他薦)によるものとする。
- (2) 業績賞は、これまでの顕著な業績を対象とし、自薦・他薦を含め応募資格は特に問わない。
- (3) 選考委員会の委員(選考の項参照)が、直接携わった研究、業績については研究奨励賞および業績賞の対象外とする。

### 4. 選考

選考については、東北建築賞選考方法内規に定められた手続きに従い行われるものとする。

#### (1) 研究奨励賞

1. 選考委員会委員は、推薦されたすべての候補について、各分野に分かれて当該論文を予備審査する。各分野の候補論文として残ったものの中から、選考委員会において決定する。
2. 研究奨励賞の審査基準は、今後の発展が期待できる研究論文であることとする。

#### (2) 業績賞

### 5. 表彰

- (1) 入選表彰は、支部総会(5月中旬)で開催する。
- (2) 研究奨励賞は 7 点以内とし発表者には賞状を授与する。
- (3) 業績賞は 5 点以内とし受賞者には賞状ならびに賞杯を授与する。

### 6. 応募手続

#### (1) 応募資料の請求

東北支部ホームページに掲載されている下記の用紙をダウンロードの上、ご利用下さい。

1. 研究奨励賞部門 推薦書と申込みの注意
2. 業績賞部門 推薦書と申込みの注意

#### (2) 応募申込み受付期間

**2020 年 6 月 1 日(月)～7 月 29 日(水)午後 4 時 必着**

#### (3) 問い合わせ、申込み、ダウンロード先、提出先

一般社団法人 日本建築学会東北支部  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉 1-5-15  
日本生命仙台勾当台南ビル 4 F  
TEL 022-265-3404 FAX 022-265-3405 <http://tohoku.aij.or.jp/>

(4) 提出物について

1. 研究奨励賞候補については、所定の「研究奨励賞推薦書」のほかに、対象となる東北支部研究報告会論文の写し、業績説明書を提出する。業績説明書は、(1)当該研究分野の発展現況の概要説明、(2)候補論文の当該分野での位置づけ・成果の意義、(3)連名の場合は応募者の果たした役割、(4)関連する論文（過去3年間に報告された論文に限る）のリスト、(5)以前に応募した論文の継続研究であれば前回応募時からの進展状況、について説明しA4版1枚にまとめる。尚、(4)の関連する論文がある場合は、参考資料として論文の写しを添付する。
2. 業績賞候補については、所定の「業績賞推薦書」のほかに、業績内容のわかる資料を提出する。

(5) 応募費用

研究奨励賞および業績賞について、応募費用は必要としない。

7. 広 報

研究奨励賞、業績賞は3月中旬にHPその他に公表する。

8. その他

受賞者には、広報に必要な概要紹介及び資料の提出をお願い致します。